



しあわせ
信州

長野県職員（農業職） として働きませんか？

長野県農政部職員募集案内 （農業・農業土木・水産）





長野県農政部が果たすべき役割とは

人は食べなければ生きていけません。県民の「食」、その食材を作り出す生命を支える産業が「農業」であり、そこに携わる人々の営みの場が「農村」です。

地球温暖化による異常気象、人口減少と高齢化、コロナ禍など「食」「農業」「農村」を取り巻く厳しい状況の下で、長野県農政部が果たすべき役割とは

- 「食」「農業」「農村」の振興と発展に向けた施策・事業を行い成果を出すこと
- 地域の基幹産業である農業を農業者とともに持続可能なものとし、長野県の未来を元気にしていくこと



長野県農政部が目指す組織と求める人物像

このような農政部の役割を果たすため、長野県農政部では組織や職員の目指す姿、求める姿を以下のように考えています。

我々の理念に共感し、次世代の「食」「農業」「農村」の振興・発展に向けて共にチャレンジする意欲のある方をお待ちしています。



目指す組織

- 農業者を支える技術力と経営力を高め、農業者の笑顔につながる仕事にチームで取り組む組織
- 農業者の思いに寄り添いながら、農業・農村の変化を敏感に捉え、柔軟な発想で新たなフェーズ展開に積極的にチャレンジすることができる組織
- 農家をはじめ農村に暮らす様々な人々や関係する多様な人々をつなぎ、農村の活性化に貢献する組織



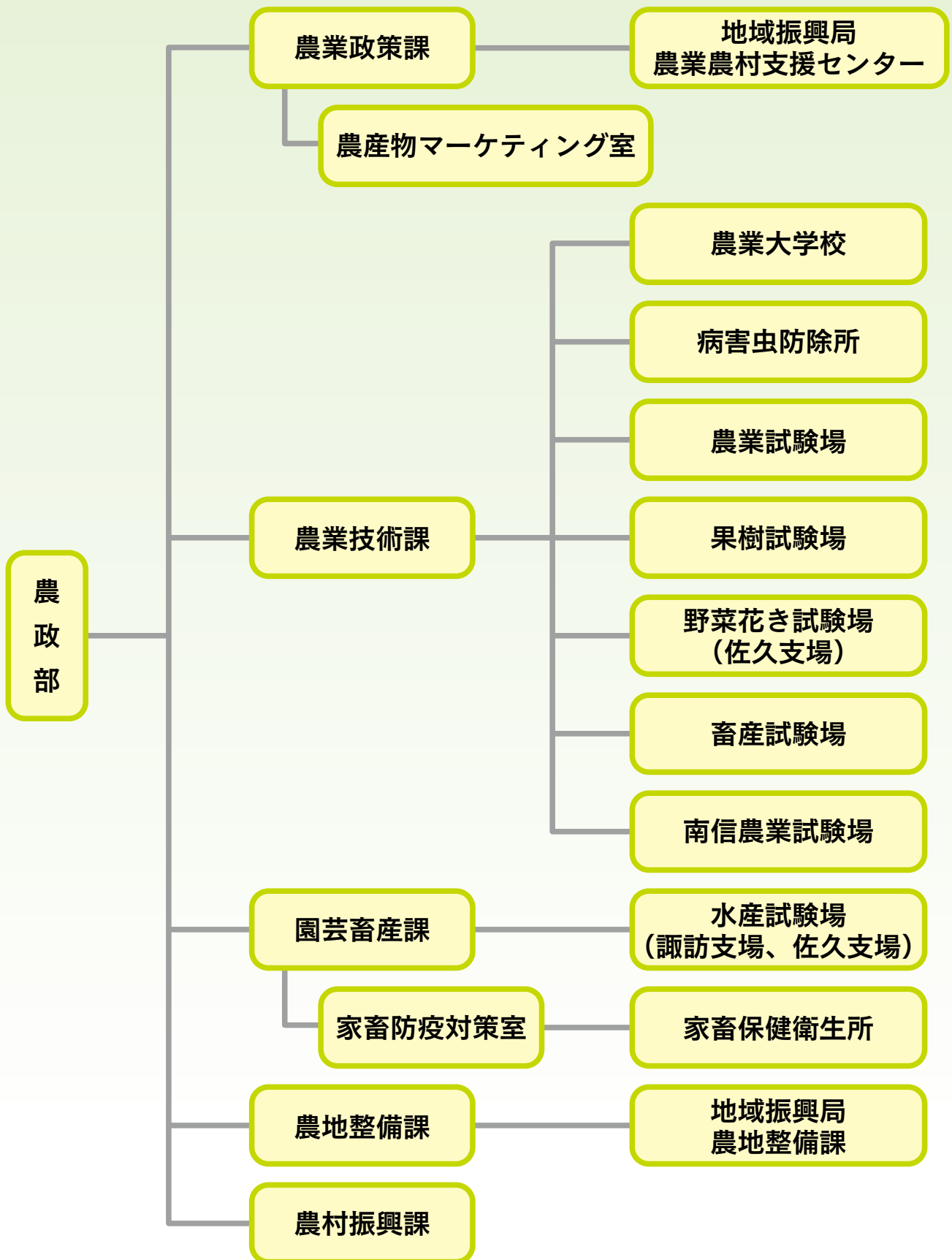
求める人物像

- 自ら学び、知識や技術を高めて未知の事柄にも果敢にチャレンジできる人
- 積極的に情報発信するとともに、様々な意見に耳を傾けることができる人
- 職場の仲間を大切にし、切磋琢磨しながら組織で仕事を進めることができる人



農政部組織一覽

各分野のスペシャリストとして県民生活を支えています。





農政部本庁の紹介

組織

農業政策課、農産物マーケティング室、農業技術課、園芸畜産課、家畜防疫対策室、農地整備課、農村振興課

主な業務内容

農業・農村の振興のための施策立案や事業化、予算編成等を行っています。

- 【農業政策課】 農業行政の企画立案・予算、農業に関する危機管理対応、農地調整、農協等の検査・指導監督
- 【農産物マーケティング室】 農畜水産物の消費拡大、流通・販売支援、地産地消の推進、輸出促進
- 【農業技術課】 農業技術の普及、米穀類の生産振興、環境にやさしい農業の推進、鳥獣被害対策への支援
- 【園芸畜産課】 園芸特産、畜産、水産物の生産振興、園芸作物の価格安定対策、畜産経営安定対策の実施
- 【家畜防疫対策室】 家畜伝染病対策（鳥インフルエンザ等）、豚熱対策、家畜衛生対策、動物用薬事
- 【農地整備課】 農地や用水路等の生産基盤整備、ため池の耐震化等の防災減災対策、小水力発電の導入支援
- 【農村振興課】 新規就農促進対策、農業制度基金、集落営農、遊休農地対策





現地機関の紹介

地域振興局農業農村支援センター

本県農業を支える担い手の確保・育成、収益性の高い産地づくり農村の活性化など、農業・農村が抱える様々な課題の解決に向け、県が開発した新たな栽培技術や新品種等の普及・拡大、施設・機械等の導入、農地の維持・拡大などに関する農家支援を、市町村や農業関係団体と連携して行っています。

●● 主な業務内容 ●●

< 農業農村振興課 >

- 農地の調整、遊休農地解消対策支援
- 新規就農者・青年就農者への資金支援
- 各種補助事業活用支援
- 6次産業化、マーケティングの推進
- 野生鳥獣害対策、中山間地域農業対策
- 環境にやさしい農産物認証支援 など



自動田植機の実証調査

< 技術経営普及課 >

- 新規就農希望者の相談活動、新規就農者の経営発展支援
- 作物・野菜・果樹・花き・畜産・水産の振興
- 農業経営、病害虫防除、農作業安全等への支援
- 農業法人、集落営農の設立支援
- 環境と食の安全に配慮した持続可能な農業生産の推進
- 地域農業・農村の維持・発展に向けた支援 など



花きの調査

地域振興局農地整備課

長野県の農業を支える農地や水路の整備、災害を未然に防ぐ防災事業など農業土木に係る仕事をしています。

●● 主な業務内容 ●●

- 農地、水路、農道など農業生産のための基盤の整備
- ため池の耐震化や地すべり防止などの防災・減災対策
- 中山間地域における農村の生活環境の整備
- 棚田の保全活動や農家の共同活動の支援
- 小水力発電の導入の支援
- 農地・農業用施設の災害復旧の支援



ドローンによる空中写真撮影



現場で工事着手前の打合せ



ICTを活用した工事現場での職員研修



適切に工事が施工されているが現場監督



農業用水を活用した小水力発電施設



試験場

農業関係試験場は普通作物、果樹、野菜・花き（きのこ含む）、畜産、水産の5分野6場で、広い研究フィールドを活用し、農業構造の変化や消費者ニーズの多様化に対応した栽培技術・新品種の開発、品質や収穫量の向上はもとより、地球温暖化やIT化など生産現場が抱える新たな課題を解決するための技術開発などの研究を進めています。

農業試験場（須坂市）

水稻、麦類等の新品種の開発、知的財産の保護・活用、気候変動対応技術の開発などを行っています。

● 主な業務内容 ●

- 気候変動や大規模経営に対応したオリジナル品種の開発
- リモコン式畦畔草刈り機などスマート農業技術の開発 など



果樹試験場（須坂市）

りんご、ぶどう、もも等の新品種の開発、省力化栽培技術や気候温暖化対応技術の研究などを行っています。

● 主な業務内容 ●

- 良食味、高品質な長野県オリジナル品種の開発
- 低コスト・省力化・軽労化のための技術開発
- 地球温暖化に対応する果樹栽培技術の開発 など



野菜花き試験場（塩尻市、長野市、小諸市）

野菜、花き、きのこ等の栽培技術の研究や、病害虫に強い新品種の育成、環境にやさしい栽培技術の開発などを行っています。

● 主な業務内容 ●

- 産地に求められる新品種の育成
- 環境負荷を軽減する防除技術の開発 など



畜産試験場 (塩尻市)

高品質な信州産ブランド畜産物に関する研究のほか、畜産における新たな課題の解決に向けた研究を行っています。

●●● 主な業務内容 ●●●

- 地球温暖化対策に関する研究
- アニマルウェルフェアに関する研究
- 最先端技術活用での低コスト・省力化による生産性向上に関する研究 など



畜産試験場全景



OPU (経膈採卵) を活用した牛の体外受精卵 生産



アニマルウェルフェアに対応したフリーアクセスストール



長野県畜産試験場が開発した信州黄金シャモ

南信農業試験場 (高森町)

地域特性を活かして、ナシや柿の新品種の育成、作業の省力化や環境に配慮した栽培技術の研究などを行っています。



南水



主な育成品種

サザンスイート



「天空のしずく(仮称)」(南農ナシ6号)

●●● 主な業務内容 ●●●

- 極晩生種を中心とした病気に強い新しいナシ品種の育成
- ナシの省力化樹形の実証調査 など



作業の省力化に向けたジョイント栽培樹の調査



柿の熟度調査

水産試験場 (安曇野市、木曾町、下諏訪町、佐久市)

水産資源管理技術や漁場環境保全技術の開発、魚類防疫対策等の試験研究・技術指導、優良種苗の供給などを行っています。

●●● 主な業務内容 ●●●

- 水産資源管理・増殖技術の開発と体系化
- バイオテクノロジー技術を用いた新品種の作出 など



信州ブランド魚: 信州サーモン



ニジマスの熟度鑑別



外来魚駆除調査



信州サーモンの出荷



潜水目視調査

農業大学校（長野市、小諸市）

明日の長野県農業の担い手を養成する専修学校です。
信州農業のトップランナーを養成する実践経営者コース、農業・農村を担う幅広い人材を養成する農業経営コース、実習重視で即戦力を養成する実科・研究科、就農前研修や機械操作等の各種研修を行う研修部があります。

●● 主な業務内容 ●●

- 講義の設計（シラバスの作成）、講師の調整
- 学生に対する講義、技術指導
- 就農（就職）に向けた指導、サポート
- 寮生活（全寮制）の指導
- その他学生の生活指導 など



農業大学校全景



トラクター授業



果樹実習



野菜実習

病虫害防除所（須坂市、塩尻市）

病虫害の発生動向の調査や予察情報の提供、農薬の適正かつ安全な使用について、生産現場を指導・支援しています。

●● 主な業務内容 ●●

- 病虫害の発生動向の調査、情報提供
- 重要病虫害の侵入警戒調査
- 無人航空機の農薬散布の危被害防止対策
- 農薬の適正使用等安全使用対策の推進
- 植物の輸出検疫に係る指導



水稲害虫の捕獲調査



果樹のハダニ調査



先輩職員の声

所属：農業技術課 環境農業係

望月 崇史さん

主な経歴

平成 30 年 4 月 長野農業改良普及センター
(現：長野農業農村支援センター
技術経営普及課)
令和 3 年 4 月 (現職)



休日は料理にハマっています。
仕事柄生産者と関わる機会が増えて、
果物の消費も増えたので、冬場はよく
アップルパイを作っています。



主な担当業務

環境にやさしい農業の推進にあたり、国のエコファーマー制度の推進や農薬・肥料の低減に向けた現地試験の調整・取りまとめを主に担当しています。現地機関の農業農村支援センター所属の際に農家の皆さんと直接関わった経験を踏まえて、現場の実態を踏まえた上で実践できる環境にやさしい農業の推進に資する活動ができるよう、心がけています。また、環境保全型農業の取組を行う農家に交付する環境保全型農業直接支払交付金という国の交付金についても担当しています。



望月さんは、なぜ県職員になろうと思ったのですか？



技術や経営の指導は、民間の農薬メーカーやJA、経営コンサル等でも可能です。一方で県は現地の農業農村支援センターの活動から生産現場や産地全体の視点を踏まえた上で、政策や方針の調整が可能です。現場に出てしっかりと技術と課題を踏まえた上で政策の調整をしたことから県職員を希望しました。



現在の仕事のやりがいは？



現地機関と本庁では業務の内容が異なり、最初は業務の変化に戸惑いました。農業職は生産者のためにJAや関係する各種農業関係メーカー、行政(国や市町村)と連携し、現場の課題解決を進めていきます。前職の普及センターでの生産者等とのつながりも生かしながら施策を進められるのは面白いところです。



長野県の技術職員を目指す皆さんに向けたメッセージ

私は高校、大学で農業を学びましたが、その学びを日々活かし、さらにアップデートして活動しています。

最初は、指導経験のない私が現場で技術指導ができるのか、今後の産地や県農政を担っていけるのか、自信がなく不安でいっぱいでした。実際は上司や先輩をはじめとした周囲のサポートや、研修も充実していることから、心配は必要ありません。ぜひ一緒に長野県農政を盛り上げていきませんか？



所属：園芸畜産課 果樹・花き係

土屋 孝史さん

主な経歴

平成 28 年 4 月 下伊那地方事務所農政課

平成 29 年 4 月 南信州地域振興局農政課

平成 31 年 4 月 (現職)



休日は、趣味の旅行やジョギング等、リフレッシュしながら仕事とのバランスを取るようにはしています。何事もバランス感覚が大事かと！

主な担当業務

ぶどう、ワイン用ぶどう栽培の適正管理を促す研修会の開催や栽培マニュアルの作成、生産者の生産技術と生産意欲の向上を目的とした、くだものコンクールの開催等、果樹の品質向上を促進するための取組を行っています。特に令和3年は、長野県期待のオリジナル赤系ぶどう「クイーンルージュ®」のお披露目の年であり、特徴でもある皮切れの良さと「シャインマスカット」を超える甘みに魅了された一年でした！

Q 現在の仕事のやりがいは？

A 大好きなうまいくだもの作りを推進しよう！その一心で仕事に取り組んでいます！
実際に果樹の生産現場に出かけて現場の様子を見て、生産者の声を伺うとモチベーションが上がりますし、課題解決に向けて関係者が一体となることができることを考え、取組を実施している時にやりがいを感じます。

Q 実際に就職してみて、職場や職員のイメージはどうか？

A 明るく前向きで相談のしやすい上司・同僚に恵まれ、円滑なコミュニケーションが毎日取れる、非常に風通しのよい職場だと感じています。仕事を進める上では、何よりも大切なことだと思っており、抱え込む前に上司や同僚に相談することを心がけています。何気ない雑談からヒントを得ることも！



長野県の技術職員を目指す皆さんに向けたメッセージ

うまいくだものを食べたい！私の入庁時の希望です。職員を目指す想いはどんな気持ちでも大丈夫！

その気持ちが採用試験や仕事に取り組むための原動力に代わるはずです。その力が長野県農業の更なる発展に必要です。一つ一つできることにチャレンジしながら、一緒に長野県の農業を盛り立てていきましょう！





先輩職員の声

所属：長野農業農村支援センター
技術経営普及課 技術経営係

宮入 友理さん

主な経歴

平成 30 年 4 月 上伊那農業改良普及センター
地域第一係
(現：上伊那農業農村支援センター)
令和 3 年 4 月 (現職)



休日にはキャンプやスノーボードなど、
信州の自然を楽しんでいます！
地域によって気候や食文化が全然違う
ので面白いです♪



主な担当業務

私は米・麦・大豆・そば等の普通作物とスマート農業を担当しています。例えば、水稻の生育が悪いときには、JAの技術員や試験場等の関係機関と一緒にその要因や対策について検討し、農家へ技術指導を行います。また、農家や関係機関・団体と一緒に先端技術の実証試験を行い、現地における実用性や技術の導入に最適な経営規模を検証し、現場へ技術普及を図っています。専門的な知識が求められるため責任重大ですが、日々勉強しながら奮闘しています。



Q 宮入さんは、なぜ県職員になろうと思ったのですか？



A 農家を支える仕事がしたいと考えたときに、民間企業だとどうしても利益の回収が求められますが、公務員であれば本当に農家にとって必要なことを総合的に支援出来ると思い、県職員を選びました。また、大学で専攻していた知識を活かせる点や、将来子育てと仕事を両立しながら定年まで働き続けられる点も、仕事を選ぶ上で重要な要素でした。



Q 就職してみて県職員のイメージは変わりましたか？



A 就職してみて驚いたのは、農家との距離の近さです。就職前はいわゆるお役所仕事のイメージがあったのですが、私のいる課では、毎日現場に出掛けて農家と直接話をします。最初は、「その道何十年のプロを相手に指導なんて！」と思いましたが、今は農家と一緒に学ぶ姿勢で仕事に取り組んでいます。



長野県の技術職員を目指す皆さんに向けたメッセージ

技術経営普及課は、現地の課題をすくい上げ、人と地域を動かす仕事です。自分にできることは何だろうと悩むこともあります。農家から「ありがとう」と言われると、とてもやりがいを感じます。一人では難しい仕事も、豊富な経験と技術を持った先輩方が力になってくれます。「長野県の農業をもっと元気にしたい！」という方をお待ちしています！



所属：諏訪農業農村支援センター
技術経営普及課

木下 希美さん

主な経歴

平成 31 年 4 月 諏訪地域振興局農政課
(現：諏訪農業農村支援センター
農業農村振興課)

令和 3 年 4 月 (現職)



花が好きなので、休日は桜やバラ、紫陽花など、県内の季節の花を見に出かけることもあります。

主な担当業務

茅野市における農業振興の担当として、新規就農者など農家への技術経営指導、青年農業者クラブの活動支援を行っています。また管内の女性農業者の育成のため、女性農業者団体の研修会・交流会開催などの活動支援を行っています。農繁期は外へ出る機会が多く、地域の農家ほ場を巡回したり、害虫の発生状況調査などで1日中外へ出ていることもあります。

Q 木下さんは、なぜ県職員になろうと思ったのですか？

A 高校卒業後県外の大学に進学しましたが、就活の際どんな仕事をしたいか考えたとき、大学で農業について学んだ経験を生かしながら生まれ育った長野県に住む人達の生活を支える仕事をしたいと思い、長野県の農業技術職に応募しました。

Q 就職してみて県職員のイメージは変わりましたか？

A 実際に就職してみて、就職前に考えていたよりもずっと、技術的な知識だけではなくコミュニケーション力や問題解決力などが必要な仕事だと感じました。色々な「人」と関わる仕事でもあるので難しさや力不足を感じることも多いですが、農家の方々などと接する中で自分の成長や仕事の楽しさ、やりがいを感じることができ、モチベーションとなっています。



長野県の技術職員を目指す皆さんに向けたメッセージ

大きく県全体の農業振興のために働く事ができるのも魅力ですが、実際に現地で農家の顔を見て、声を聞くことができるのがこの仕事の大きな魅力だと思っています。農家の方に近いからか、職場の雰囲気も明るく笑いあいの毎日です。長野県の農業振興のために働きたいという想いを持った方と一緒に仕事ができれば嬉しいです。





先輩職員の声

所属：畜産試験場 飼料環境部

北原 茉依さん

主な経歴

平成 27 年 4 月 下伊那農業改良普及センター
(現：南信州農業農村支援センター)

平成 30 年 4 月 (現職)



おうちでゆったり、のんびりする
ことが多いです。
休みの日は“ずく”がないですね。



主な担当業務

牛のエサとなる牧草類について、本県における栽培適性を調査しています。牧草に適正なんてあるの？と思われるかもしれませんが、牧草にも様々な種類があり、さらにリンゴにおける「ふじ」や「つがる」の様に品種も存在します。この中から本県の気候に適した牧草を選定・調査しています。また、牧草やトウモロコシサイレージなど繊維を重視した牛のエサを粗飼料と呼びますが、粗飼料の繊維量などの成分を分析する仕事も行っています。

Q

北原さんは、なぜ県職員になろうと思ったのですか？

A

当時お世話になっていた研究室の教授から県職員を勧められたのがきっかけです。一番に長野県で働きたかったことがあり、また、研究関係や農業を支える仕事に興味を持っていたことから県の技術職に興味を持ちました。それまでの漠然とした就職のイメージから明確な目標へと変わったことを今でも覚えています。

現在の仕事は天候に大きく左右され、思い通りに調査が進まないことや、雑草に覆われ試験区の設計を失敗するなど大変な事もありましたが、試験の結果を成果として出せた時は達成感を感じました。研究職員としてまだまだ未熟者ですが、試験の先に農業者がいることを念頭に日々取り組んでいます。



長野県の技術職員を目指す皆さんに向けたメッセージ

私はずっと農業系を勉強してきたわけではなく、実家も非農家です。就職してから職場や現場の方たちに沢山のことを教わりました。農業関係以外の知識が役に立ったこともあり、専門以外の知識やスキルも必要だと実感しています。少しでも興味があれば是非、自分の専攻に囚われることなく、挑戦して頂きたいです。



所属：野菜花き試験場 野菜部

保 勇 孝 亘さん

主な経歴

平成 31 年 4 月（現職）



休日はカメラを持って写真を撮りに出かけています。最近は動物と触れ合える場所で写真を撮ったりしています！

主な担当業務

私は野菜の生理生態・栽培に関する試験研究を担当しています。具体的には、レタス、はくさい、キャベツといった葉野菜類、ながいも、たまねぎ等の根菜類、アスパラガスなどについて、省力的な栽培方法や環境にやさしい栽培技術の開発を行っています。夏の暑い時期は大変な時もありますが、専門知識を持つ先輩たちにサポートしてもらいながら、毎日楽しく野菜の研究をしています。

Q 保勇さんは、なぜ県職員になろうと思ったのですか？

A 最初は民間も含めて研究関係の仕事がしたかったため、特に県職員を目指していたわけではありませんでした。大学生の頃に野菜花き試験場を見学し、この職場の技術開発が面白そうと感じたのが県職員を目指したきっかけです。

Q 現在の仕事のやりがいは？

A 新たな技術を開発できることが、試験研究の仕事の良いところだと思います。繁忙期は1日中野菜と向き合っていることが多いですが、その時間が一番面白く充実していると感じています。また、将来的には自分の生み出した技術が農業を活性化させると思うとやりがいや責任を感じます。



長野県の技術職員を目指す皆さんに向けたメッセージ

研究職の魅力は、自らの考えを反映させた設計を立て、新しい技術を開発できることだと思います。新しい技術は、現状の課題解決も重要ですが、広い視野を持ち、新たなものを創造することも求められています。

長野県の農業を盛り上げたいという熱い思いを持った方、一緒に技術開発に取り組んでみませんか。





先輩職員の声

所属：南信州地域振興局
農地整備課 水利防災係

北條 翔太郎さん

主な経歴

平成 30 年 4 月 北アルプス地域振興局 農地整備課
水利防災係

令和 3 年 4 月 (現職)



長野県の自然を満喫しています。
冬は県内各地のスキー場で
スノーボードを楽しんでいます。



主な担当業務

農村地域の防災減災事業を担当しています。具体的には、農地や水路・農道といった農業用施設が地すべりの被害を受けないように、地すべりの原因となる地下水位を下げたり、法面を保護するような工事の発注・現場監督を行っています。地元関係者や施工業者と話し合い、より良い工事となるように励んでいます。また、農地や農業用施設が豪雨などにより被害を受けた時は早期復旧できるように、災害復旧を担う市町村の業務支援を行っています。



現在の仕事のやりがいは？



地域の方たちが大切に管理している農地を守る仕事で、農業を支えることにつながっていると感じています。思うように現場が進まないこともあります。工事完成後に感謝の言葉をいただくことがなよりの励みです。工事は1箇所毎に現場の条件も違うので、地元関係者や施工業者、職場の先輩方と相談しながらの毎日で、私自身成長できるよう取り組んでいます。



就職してみても県職員のイメージは変わりましたか？



公務員の仕事というと執務室でのデスクワークを想像していましたが、実際は現場に出て農家の方や施工業者と話をすることが多かったです。仕事で難しい課題に直面しても、経験豊富な先輩方が相談に乗ってくださり乗り越えることができました。地域のためにより良い工事にしようと前向きになれる、とても良い職場です。



長野県の技術職員を目指す皆さんに向けたメッセージ

作物を育てることも重要なことですが、作物を作るための農地や農業用施設を整備する農業土木職の仕事もとても重要なものです。初めは分からないことばかりでも、先輩方のサポートにより安心して仕事に取り組むことができるので心配はありません。農業土木の職員の一員として、一緒に長野県の農業を盛り上げていきましょう！

動画インタビューも
観られます！
(Youtube)



所属：上伊那地域振興局
農地整備課 水利係

常田 美優さん

主な経歴

平成 30 年 4 月 佐久地域振興局 農地整備課
地域整備係
令和 3 年 4 月 (現職)



地元のアマチュアオーケストラに所属しており、休日は年2回行われる演奏会に向けて練習に励んでいます！

主な担当業務

農作物の栽培に欠かせない水を供給するための農業用水路を整備する「かんがい排水事業」の一環として、主に古くなった水路の補修、改修工事を担当しています。具体的には担当地区の工事発注のための予算管理、設計積算、現場監督を行います。地元農家の方々の声を聞きながら、業者さんと一緒に現場を形にしていくことにやりがいを感じています。また、現場が完成し、現場に携わった方々の思いが形になったときはとても感慨深いです。

Q 常田さんは、なぜ県職員になろうと思ったのですか？

A 県外出身のため長野県は地元ではありませんが、幼少期からよく旅行等で訪れることが多く、第二の地元と感じていました。将来、自然に囲まれた環境で生活したいという思いが強く、進路を決める中で親しみのある長野県に住むことを決意しました。また、物理の分野に興味があり、大学では農業土木を専攻していたため、大学で学んだ知識を活かせる仕事として農業土木職を選びました。

Q 就職してみて県職員のイメージは変わりましたか？

A 業務内容のイメージが変わりました。県職員と言えば窓口業務、デスクワークが中心というイメージでしたが、私の採用された農業土木職は現場に携わる業務が主となるため、デスクワークもありますが、実際に工事が稼働する秋～春先の時期は特に外に出ることが多いです。



長野県の技術職員を目指す皆さんに向けたメッセージ

「農業土木職ってどんな仕事をするの？」という方も多いと思います。本職では、農業を営む上で必要不可欠な農業用水路、農道、ほ場などの農業基盤の整備に携わることができ、長野県の農業を支える大事な役割を果たしています。農業土木職に少しでも興味を持っていただけると嬉しいです。そして、長野県の農業をより良くしたいという思いを持つ皆さんと一緒に働けることを心待ちにしています。



動画インタビューも
観られます！
(Youtube)





Q & A

Q 受験案内はどこから手に入りますか？

A 受験案内を入手する方法は、次の3つです。

- ① ホームページからダウンロードする。
- ② 直接受け取る。
- ③ 郵便で請求する。



Q 試験問題は公表されていますか？

A 試験で出題するものと同程度の問題を「例題」としてホームページで公表しています。

Q 採用試験を受験する際に県外出身者は不利になりますか？

A 採用試験は地方公務員法の平等取扱の原則に基づき実施しているため、性別や年齢、県外・県内出身の別、出身大学・学部などによって有利・不利になることはありません。
また、県外出身の方で農政部内で活躍している職員も沢山います。

Q 勤務地や職務についての希望はどの程度かなえられますか？

A 新規採用者の場合は、合格後の意向確認の打ち合わせの際に希望を伝えることができます。また、4月の定期人事異動に向けて年に1回希望調査を行っています。
職員のキャリア設計や勤務地の希望に出来る限り配慮していますが、必ずしも希望どおりに配属されるとは限りません。

Q 採用後のキャリア形成はどのようになるのですか？

A 農業職の場合、採用当初は県内10か所にある農業農村支援センターに配属となることが多く、営農指導や新規就農者支援等の業務に従事することになります。その後は適性等に応じて他地域の農業農村支援センターや県庁各課（農政部）、試験研究機関等に異動していくのが一般的です。希望や適性によっては試験研究部門での勤務が長くなる方もいます。
農業土木職の場合、採用当初は県内10か所にある地域振興局農地整備課に配属され、その後は異なる地域の農地整備課や県庁農地整備課等に異動していきます。

Q どの位のスパンで職場の異動があるのですか？

A 採用後10年未満の若手職員は2～3年程度、採用後10年～20年前後の中堅職員は4～5年程度で異動するのが一般的です。ただし、試験研究機関では研究内容等に応じて5年以上在籍する場合がありますなど、職場によって違いがあります。

Q 大学等で学んだことをすぐに仕事に活かせるか不安です。研修制度はありますか？

A 各職場においてOJT研修を実施している他、職場の先輩から随時様々なアドバイスを受けられます。
また、県職員としての基礎的な知識・能力に関する新規採用職員研修を実施しています。



勤務条件

給与について

初任給	令和3年4月の初任給(大卒・地域手当を含む)は、約195,000円です。社会人経験のある人は、これより高い初任給が支給されます。
昇給	原則年1回の定期昇給があります。
期末・勤勉手当	1ヶ月分の給料等をベースにして、年間4.40ヶ月分が夏と冬に分けて支給されます。
諸手当	扶養手当、住居手当、通勤手当、超過勤務手当等が状況に応じて支給されます。

勤務時間／休日／休暇

勤務時間	原則として午前8時30分から午後5時15分まで
休日	完全週休2日制 (原則として、休日は土・日・祝日及び年末年始)
休暇制度	年次有給休暇(年20日／4月新規採用者は15日) 夏季特別休暇(5日間) 結婚休暇(連続7日間) 産前・産後休暇(出産前後各8週) 育児休業(子が3歳になるまでの間) など

福利厚生

住居	県内各地に世帯用・単身用の職員宿舎や独身寮が用意されています。(一般の賃貸を借りる場合には、賃貸料に応じた住居手当が支給されます。)
健康管理	全職員を対象とした定期健康診断をはじめ、人間ドックや各種特別検診などを通じ、職員の健康管理に努め、健康で快適な職場環境づくりを図っています。
共済・互助制度	健康保険や年金制度が整備され充実した給付が行われます。また、病気やケガなどの不測の事態の見舞金、結婚・出産・子供の小学校入学等の際には祝金が給付されるほか、生活資金、住宅資金などの貸付も行われています。その他、共済組合が契約した全国各地の保養施設が利用可能です。

ワークライフバランスへの取組

育児サポート制度	女性職員向けの妊娠中・出産前後の休暇制度や、男性職員向けの育児休業取得制度などがあります。
テレワーク・在宅勤務	県庁／合同庁舎でのテレワーク勤務、在宅勤務、勤務時間をずらして勤務する時差勤務等、職員のワークライフバランスの実現に向けた取組がなされています。



農政部関係機関の所在地

県内各地で日々地域の暮らしを支える仕事をしています。



長野



北アルプス



松本



木曾



南信州



北信



上田



佐久



諏訪



上伊那

	県庁		高速道路
	地方振興局(農地整備課、農業農村支援センター)		北陸新幹線
	各種試験場		リニア中央新幹線(予定)
	家畜保健衛生所		

お問い合わせ

長野県農政部農業政策課

長野県庁 〒380-8570 長野市大字南長野字幅下 692-2

電話：026-235-7211 FAX：026-235-7393

電子メール：nosei@pref.nagano.lg.jp

発行：令和4年（2022年）3月